

(様式4)

平成29年2月28日

平成28年度 第3回 大阪市立市岡中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立市岡中学校
 校 園 長 名 西 川 孝 治

日 時	平成29年2月28日(火) 19時00分～20時40分(1時間40分)	
場 所	大阪市立市岡中学校 多目的室	
出席者	委員など	森下 竜(会長)、近藤 馨(委員)、中村順子(委員)、山本泰子(委員)、山本久美子(委員)、渡辺隆弘(委員)、貴志繁美(委員)、石川久留美(委員)、小林 猛(委員)
	校 園	西川孝治(校長)、北川延尚(教頭)、川口俊治(首席教諭)
	区役所	村上真義(協働まちづくり支援課 教育・人権啓発グループ 担当係長)
議題	(1)「学校運営に関する自己評価(最終)」 (2)「学校評価(中間)アンケート」結果について (3)「市統一・IBA・チャレンジテスト」について (4)「全国運動能力・運動習慣調査」について (5)「学校元気アップ 地域本部事業」について(6)学校協議会改選について(7)その他	
協議要旨	協議の結果	
	(1) ○「運営に関する自己評価(最終評価)」・「学校評価アンケート」・「大阪市統一テスト・大阪市英語力(英検 IBA)」各テスト結果概要及び、「全国運動能力・運動習慣調査結果」についての説明について御理解が得られた。 また次年度に向けて様々なご意見を頂いた。	○教科内容を教えるのは、その方法もアクティブラーニングなどこれまでの教え方と異なり、難しくなっているように感じる。 ○保護者として、「講義型一斉授業・知識を詰め込み方式」の学習形態に慣れている分、今の「学びの共同体」などの新しい学習形態に対しては、結果が出るまでに不安がある。 ○生徒アンケート結果から、先生への質問がしにくい回答結果が出ているが、そもそもわからない事を聞くのは難しく、自分自身が分かっている事と、分かっている事を区別していないと質問自体が出来ないので、先生側にだけ問題がある訳ではない。 ○学力を上げるためには小中連携が必要で9年間で学び方を習得しなければならない。 ○部活が活発で、体力も向上している。
	(5) ○石川委員より「元気アップ事業」の活動内容及び今後の動きについて理解が得られた。	○元気アップ参加率が低い。 ○図書館は充実しているが利用率が低い。蔵書の内容を変え生徒達が読む意欲が湧く新刊書籍やまんが文庫などを2年間ほどかけて入れ替えてはどうか。 ○図書館の情報処理システムを導入希望。
	(6) 小林猛委員の辞任について承認を得た	○地域小学校校長の委員については、1年ごとの持ち回りが原則であることを確認。
協議資料	○「運営に関する自己評価(最終)」 ○学校評価アンケート(生徒・保護者・地域)結果 ○「市統一・IBA・チャレンジテスト」各結果概要○全国運動能力・運動習慣結果概要 ○元気アップ地域本部取組報告書 ○市岡中学校学校だより 3月号	
備考	傍聴者[0]名	

